

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	玄関の施錠は身体拘束にあたるので、職員間で閉めることの意味を話し合い、鍵を開ける努力をしてほしい。	安全に配慮しながら、可能な限り玄関の施錠を実施する。	家族に説明を行い、理解を求める。職員間で身体拘束について話し合い、施錠の意味の共有をはかる。安全に施錠できる環境づくりを行う。	12ヶ月
2	45 (17)	入浴は定期的実施しているが、いつでも入浴できることを情報として提供し、利用者全員に「入りますか。」と声かけをし、選択の機会を作ってほしい。	いつでも入浴していただける体制を作る。	問題点を話し合い、改善方法を検討する。業務内容・人員の見直しを行う。選択の機会を提供する事理解を深める。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。